

# 青年期女子における 精神的健康の向上を目的とした 予防的プログラムの開発と効果の検討

人文学部 心理カウンセリング学科 三浦正江・平野真理・岡島 義・五十嵐友里・井上俊哉

## 背景および目的

1986年の男女雇用機会均等法施行から34年が経過し、女性の社会における役割は変化し、選択肢も多様になった。しかし一方で、「世界ジェンダー・ギャップ報告書2020」では、日本は世界153ヶ国中121位と過去最低の順位であり、我が国では未だに性別へのとらわれや役割分担の意識が存在しているといえよう。本研究課題では、このような「女性であること」による制約やストレスが青年期女子の精神的健康に及ぼす影響を明らかにすることを目的としている。研究2年目である今年度は、女性観を測定する尺度項目を準備して調査を行い、その因子構造を検討した。

## 方法

### 対象者

首都圏女子大学に在籍する大学生（女性）213名（平均年齢19.99歳、SD=1.11）を対象とした質問紙調査を行った。その中で、記入漏れ等のあったものを除いた203名を分析対象とした。

### 手続きと倫理的配慮

講義終了後に研究協力の依頼を行った。回答は強制ではないこと、途中離脱による不利益はないこと、

個人が特定されることはないこと等を文書および口頭にて十分に説明し、同意の得られた者のみに無記名式の質問紙調査を実施した（2020年1月）。

### 調査内容

2018年12月に、インターネット調査会社のモニターに登録している大学生・社会人計1,000名（女性600名、男性400名）を対象にweb調査を行った。具体的には、19の刺激語（例：女性とは、女性ができないことは、女性の良さは、女性は社会において、男性と比べて女性は、など）を呈示し、それに続く文章を自由に記述してもらった。

その結果得られた19,000記述について、大学教員4名で意味の判別が不可能なもの等を除外し、記述内容が同一あるいは類似のものをまとめる作業を行った。その後、項目表現の適切性について検討し、計93項目が「女性観尺度原版」の項目として準備された。各項目に対して「そう思わない=1」～「そう思う=4」の4件法で回答を求めた。

## 結果

### 現代の女子大学生が抱く女性観

93項目の平均値を算出した結果、上位5項目は「女性は、男性とは異なる視点をもつ」「女性は、身だしなみに気をつかう」「女性は、社会に貢献でき

Table 1 女性観尺度の因子分析結果 (N=209)

	項目	因子負荷量				
		I	II	III	IV	V
<b>I 聡明で柔軟 (α=.93)</b>						
93	女性は、素直だ	.77	-.10	-.05	-.08	.02
54	女性は、手際よく物事をすすめることができる	.76	.02	-.01	.03	.09
52	女性には、物事を見極めて判断する力がある	.76	.03	-.13	-.05	.01
46	女性は、考え方が柔軟だ	.74	-.03	-.10	.14	-.02
92	女性は、元気でエネルギーが豊富だ	.72	-.05	-.02	-.20	-.03
57	女性は、自然体だ	.70	-.09	-.17	.06	-.13
47	女性は、環境への順応性が高い	.69	-.07	.07	.12	-.03
91	女性は、前向きだ	.67	.09	-.06	-.17	-.09
88	女性は、現実的な思考をする	.64	-.19	.18	-.04	-.02
41	女性は、賢く聡明だ	.63	.09	.03	-.09	.07
58	女性は、あたたかみがある	.61	-.01	.21	.09	-.06
50	女性には、創造力がある	.57	.22	-.31	.15	.05
53	女性は、しっかりしている	.56	.20	.03	.06	.08
37	女性は、複数のことに同時に取り組める	.56	-.10	.03	.13	.00
55	女性は、きめ細やかに考えることができる	.56	.12	.03	.05	.14
31	女性には、人間関係を築く力がある	.53	.08	.10	.09	.09
15	女性は、優しい	.48	.19	-.03	.02	.03
56	女性には、多様な可能性がある	.43	-.05	.23	-.23	.25
<b>II 美しく家庭的 (α=.87)</b>						
3	女性は、おしゃれだ	-.05	.73	.03	-.13	.03
4	女性は、身だしなみに気をつかう	-.16	.69	.16	.04	-.01
1	女性は、美しい	.10	.67	-.20	-.15	-.03
5	女性は、清楚だ	.18	.65	-.18	.04	-.04
2	女性は、料理や家事をする	-.13	.61	.01	.26	-.04
82	女性は、一生懸命にがんばる	.16	.59	.08	-.25	-.12
35	女性は、繊細だ	.13	.54	.01	.16	.13
33	女性は、面倒見が良い	.19	.42	.09	.16	.06
45	女性には、やわらかい雰囲気がある	.25	.41	.16	.05	-.15
<b>III 感情的でしたたか (α=.77)</b>						
68	女性は、複雑で分かりにくい	.02	-.07	.70	-.11	-.02
66	女性は、感情的だ	.05	.01	.65	-.06	-.14
65	女性は、相手によって態度をかえる	-.23	-.02	.64	.15	-.05
64	女性は、自分勝手にわがまま	-.10	-.05	.61	.11	-.06
67	女性は、したたかだ	.10	.07	.49	-.02	.16
30	女性は、おしゃれだ	.03	.10	.49	.08	.15
<b>IV 自立しておらず補佐的 (α=.72)</b>						
62	女性は、裏方作業に適している	.02	-.06	-.11	.63	-.05
60	女性は、意思決定を他人に任せる	.12	-.27	.13	.61	.10
75	女性は、自己主張できない	-.25	.11	.07	.59	.17
72	女性は、他者を頼って助けてもらう	.07	.10	.00	.54	-.17
76	女性は、自分の身の丈に合った幸せを考える	.07	.06	.10	.47	.04
39	女性は、男性を補佐する	.03	.08	.04	.47	-.09
79	女性は、仕事をする	.10	.22	.29	-.47	-.04
<b>V 社会の中で生きづらい (α=.69)</b>						
26	女性は、社会の中で生きづらい	.10	-.08	-.01	.05	.68
29	女性は、社会の中で正當に評価されていない	.14	-.03	.01	-.02	.67
69	女性は、社会の中で優遇されている	.17	-.03	.18	.28	-.55
44	女性は、自由に生きている	.38	.01	.09	.00	-.53
12	女性は、苦労が多い	.09	.08	.03	.17	.46
因子間相関係数	I	-				
	II	.70	-			
	III	.37	.37	-		
	IV	.23	.31	.21	-	
	V	.05	.01	-.01	-.06	-

る」「女性は、仕事をする」「女性は、子育てをする」「女性には、多様な可能性がある」であった。下位5項目は「女性は、社会の中で必要とされていない」「女性は、能力的に男性に劣る」「女性は、社会の中で活躍できない」「女性は、自己主張できない」「女性は、裏方作業に適している」であった。

## 女性観尺度の因子構造 (Table 1)

女性観尺度原版93項目について、①IT相関係数が.10未満、②M+1SDが4.00以上あるいはM-1SDが1.00未満に該当する7項目を削除し、残った86項目で主因子法、プロマックス回転による因子分析を行った。固有値1.00以上、固有値落差、因子負荷量.40以上、因子の解釈しやすさ等を考慮した結果、5因子45項目が抽出された。

第1因子は「素直だ」「手際よく物事を進めることができる」などの項目が含まれており、「聡明で柔軟」因子と考えられた。第2因子は「美しい」「料理や家事をする」等から構成され、「美しくて家庭的」因子と命名した。一方、第3因子の項目は「複雑で分かりにくい」「感情的だ」「したたかだ」などであり、一般的に女性のネガティブな側面とされている。そこで「感情的でしたたか」因子といえよう。また、第4因子は「裏方作業に適している」「男性を補佐する」などであり、裏方として男性を補佐する内容と解釈でき、「自立しておらず補佐的」因子とした。最後に第5因子の項目は「社会の中で生きづらい」「正當に評価されない」などであり、「社会の中で生きづらい」と命名した。なお、下位尺度ごとにCronbachのα係数を算出した結果、α=.93～.69であり、一部十分とは言えない値もみられたが一定の信頼性が確認された。

## 考察と今後の展望

本研究結果から、女子大学生は女性について、「身だしなみに気を使い、子育てをする」といった従来型女性像と同時に、能力的に男性に劣ることはなく、男性とは異なる視点を持って仕事を行うなど多様な可能性をもち、自立して社会に貢献できる存在といったイメージを有していることが示唆された。因子分析では、「美しくて家庭的」「男性を補佐する役割」といった伝統的性役割と解釈できるものや、それに伴う「社会における生きづらさ」が抽出された。今後は、共学大学在籍の女子大学生や男子大学生、社会人男女を対象とした検討を行うことが期待される。